

様式第 1 0

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
登別市	登別市	平成 23 年度～平成 27 年度	平成 23 年度～平成 27 年度

1 目標の達成状況

(ごみ処理)

※目標未達成の指標のみを記載

指 標	現状 (割合※1) (平成21年度)	目標 (割合※1) (平成28年度) A	実績 (割合※1) (平成28年度) B	実績 B /目標A	
排出量	事業系 総排出量	8,298t	8,298t (±0%)	7,843t (-5.5%)	94.5%
	1 事業所当たりの排出量	4.33t	4.33t (±0%)	4.65t (7.4%)	107.4%
	家庭系 総排出量	11,089t	10,315t (-7.0%)	10,244t (-7.6%)	99.3%
	1 人当たりの排出量	212kg/人	204kg/人 (-3.8%)	209kg/人 (-1.4%)	102.5%
	合 計 事業系家庭系総排出量合計	19,387t	18,613t (-4.0%)	18,087t (-6.7%)	97.2%
	その他 (白老町排出量)	816t	758t (-7.1%)	6,451t (690.6%)	851.1%
	その他 (直接処理量) ※2	1,395t	529t (-62.1%)	1,286t (-7.8%)	243.1%
その他 (下水道・し尿汚泥)	3,285t	2,800t (-14.8%)	2,987t (-9.1%)	106.7%	
合 計 事業系家庭系総排出量合計 (合計 事業系家庭系総排出量合計) ※3	24,883t (23,488t)	22,700t (-8.8%) (22,171t) (-5.6%)	28,811t (15.8%) (27,525t) (17.2%)	126.9% (124.1%)	
再生利用量	直接資源化量	1,536t (6.2%)	1,587t (7.0%)	1,582t (5.5%)	99.7%
	総資源化量	3,507t (14.1%)	3,581t (15.8%)	3,214t (11.2%)	89.8%
最終処分量	埋立最終処分量	2,500t (10.0%)	2,081t (9.2%)	2,712t (9.4%)	130.3%

※1 排出量は現状に対する割合、その他の指標は排出量に対する割合

※2 その他 (直接処理量) は、最終処分量を減量化するために燃やせないごみ及び粗大ごみの破碎処理をして取り出した可燃物の量

※3 事業系家庭系総排出量合計からその他 (直接処理量) を除いた数値

## 2 目標が達成できなかった要因

当市と広域処理を行っている白老町では白老町バイオマス燃料化施設の稼働に伴い、平成 21 年度以降「燃やせるごみ」の広域処理を中止していたが、同施設の事業計画の見直しにより今回の計画期間中である平成 26 年度より「燃やせるごみ」の一部について本格的な受入れを再開した。その結果、当市の目標の達成状況は、各施策を実施したこともあり概ね目標を達成したが、白老町の「燃やせるごみ」の広域処理再開に伴い目標に及ばない項目があった。

## 3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 33 年度まで

今後は、当市においては登別市一般廃棄物処理基本計画及び白老町ごみ処理基本計画に基づき、ごみの減量や資源化等の施策を推進して、さらなるごみの発生・排出抑制及び再生利用の促進に努めていく。具体的には、以下の取組みを重点的に推進していく。

- 広報紙・ホームページ等による普及啓発、普及啓発冊子の発行及び各種団体・学校への啓発活動によりごみの減量化に努める。
- 「資源回収団体奨励金支給制度」、「再生展示品」等を推進して、ごみの資源化・減量化に努める。  
※「資源回収団体奨励金支給制度」は登別市のみの取組み
- 中間処理施設での再資源化が高まるよう分別収集の徹底に努める。

(都道府県知事の所見)

特に所見はありません。